

③パールセンター

1932年に杉並区ができ、阿佐ヶ谷駅周辺が新興住宅地として発展し、パールセンターの原型となる商店街は約120の店舗を構える大きい商店街になりました。しかし、太平洋戦争の影響で閉店が相次ぎ、強制疎開で更地になってしまいました。

戦後は商店の営業が再開し、中杉通りとケヤキ並木も誕生しました。同時期に現在のパールセンターの前身にあたる「阿佐谷南本通商店会」ができ、1954年には集客数の増加を狙い、第一回阿佐谷七夕まつりを開催しました。それ以降、毎年恒例のお祭りとなっています。

1960年には「阿佐谷南本通商店会」の愛称を募集し「各店舗が真珠のように輝き、首飾りのように商店同士が協力し、結び合い、繁栄する」という願いを込め『阿佐谷パールセンター商店街』と名前がつきました。

1995年から阿佐谷ジャズストリートのパブリック会場となっています。

また、夏に開催される阿佐谷パールセンター七夕まつりは、仙台や平塚の七夕まつりと並び「日本三大七夕まつり」と紹介されることもあります。阿佐谷の街の一大イベントとして地域を盛り上げていて、杉一小の子も毎年楽しみにしています。

参考

なみじやない、杉並！HP (中央線あるあるPROJECT)

わくわく阿佐谷パールセンターHP



いつもにぎやかで、店舗のバリエーションも豊富なパールセンター。お店の人も行き交う人々も生き生きとしています。

